



根堀台だより

平成29年10月17日

第 64 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

見事5連覇！ 防火防犯弁論大会



本校代表の〇〇〇〇〇さん



10月16日(月)の午後、「第34回由利本荘市中学校少年非行防止・防火弁論大会」が本校を会場に開催されました。

この弁論大会は「由利本荘地区少年保護育成委員会」と「由利本荘市幼少年婦人防火委員会」の主催で、中学生を対象にいじめや万引きなどの非行防止と防火に関して意見を発表することで社会に貢献できる人間を育てることを目的に開催されるものです。

由利本荘市の10中学校からの代表生徒が「防火に関すること」について5名、「少年非行防止に関すること」について5名が、それぞれ5分間の持ち時間で弁論を行いました。

本校からは3年生の〇〇〇〇〇さんが「防火の部」に出場し、「見えない炎に恐れを感じて」という演題で3番目に発表しました。聞きやすい声と落ち着いた態度で、臆することなく堂々と発表し、見事「最優秀賞」に輝きました。

電化製品による火災を「見えない炎」という言葉に集約された内容は聞く側にとって大変イメージしやすく、〇〇〇さんの弁論に会場全体が引き込まれていきました。この弁論大会での本校の「最優秀賞」は今回で「5年連続」の受賞となります。〇〇〇さんの努力と頑張り、担当の〇〇〇〇〇先生の指導の賜物と感謝しています。

また、当日は本校生徒の他に由利小学校の6年生も一緒に弁論大会に参加しました。中学生の迫力ある弁論を聞きながら、熱心にメモを取る小学生の姿は大変立派でした。さすが由利小学校の子どもたちです。来年の入学が今から楽しみです。

勿論、由利中生の聞き方も大変よかったと来賓や関係者の方々から高い評価をいただいております。閉会の挨拶の中で「よい聞き手はよい弁論を作る」という言葉を皆さんに紹介しました。弁士が気持ちよく自己表現できるかどうかは会場の「雰囲気」次第です。由利中生全員が今回の弁論大会の成功に寄与することができたと思います。

秋空のように爽やかな弁論大会でした。



聞く側も立派な態度です

見えない炎に恐れを感じて

由利中学校三年 ○○○○○

みなさんは薪ストーブを知っていますか。私の家では、冬の間、薪ストーブを使います。居間の真ん中に置かれた薪ストーブでは、炎が真っ赤に燃えています。煙突付近は熱くなります。家の中で火を燃やすのですから、ここから火事になる可能性は十分にあります。

でも、我が家が火事になりそうになったのは、居間の真ん中で炎が燃えている薪ストーブが原因ではありません。五十年以上も使っている薪ストーブから、火事になりそうになったことは一度もないそうです。それはなぜでしょうか。それは、薪ストーブを使う時には、家族全員が気持ちを引き締めるからです。気持ちを緩めて、火を粗末に扱えば、すぐに大火事になってしまうことを家族みんなが知っていて、細心の注意を払っているからです。

では、火事になりかけた原因は何か。それはトースターです。火を使わないトースターから火事になるなんて、一体、誰が考えるでしょう。でも、トースターの中ではパンに火が点き、内部が溶け、火と煙が充満しました。トースターにパンを入れ、その場を離れたわずかな時間の出来事です。今思い出しても恐ろしくなります。トースターが古くなり、タイマーが作動しなかったために、加熱しすぎたことが原因のようです。炎が燃えさかっている薪ストーブから火事になったことは一度もないのに、火の見えない電化製品が原因で火事になる。それは、火事の危険性を感じているかどうかという、人間の意識の問題なのだと思います。

それ以来、私の家では、いろいろなところに気を付けています。調理中は絶対にコンロの火から離れない、仏壇の線香は点けたら必ず消すなど、見える炎への注意はもちろん、見えない炎にも恐れを感じて気を付けています。まず、古くなったトースターとガスコンロは交換しました。たこ足配線をしないこと、コンセントやプラグにほこりがたまらないようにしておくこと。そして、消火器も備え付けました。

今や家電はなくてはならない存在です。留守中に洗濯機を動かしていることはよくあります。自動で動く掃除機もあります。私たちは、家電の点検や修理、使い方や使う時間などに、もっと気を遣って生活しなければならないのではないのでしょうか。誰もいない家で、家電やコンセントから火花が散ったら、と思うと恐ろしいです。「そんなことは絶対にならない」と言い切れますか。現に私の家ではトースターから出火しました。

さあ、みなさん、みなさんの家で使っている電化製品は大丈夫ですか。コンセントやプラグにほこりは付いていないか、コードは裂けていないか、使っていないプラグがさしっぱなしになっていないか、古い家電に不具合はないか、など、今日帰ったらさっそく家電の点検をしてください。そして、誰もいない時に動かしてもいいのかどうかについても、今一度考えてみてください。使い方や使う時間について家族で話し合うことも必要かもしれません。火事は大切なものを全て奪います。

火が見えていてもいなくても、炎があがる可能性があるのだという危機感をもって、生活することが大事です。いいえ、見えない炎にこそ恐れを感じて生活することが大事なのだと思います。

水辺プラザ秋祭りにボランティアとして参加予定

10月21日(土)に西滝沢水辺プラザで「秋祭り」が行われます。今回は35名の由利中生がボランティアとして運営に参加することになりました。

しかし、当日は2年生の「PTCR」と重なってしまったことから、1・3年生の有志が参加します。

催し物の手伝いから、食事の準備など色々な場面で活躍する姿をご覧頂くと共に、「由利中生、頑張っているね」という激励の一言をよろしくお願いします。